

改訂日 2025年8月7日 (第4版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ミネクトブラスター顆粒水和剤
デザインコード	A22858B
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海1丁目8番10号オフィスタワーX 21階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1027
Eメールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
緊急連絡電話番号	日本中毒情報センター 中毒110番 一般市民向け受信相談(情報料無料): 大阪(365日・24時間): 072-727-2499 つくば(365日・24時間): 029-852-9999 医療機関専用有料電話(1件につき2000円): 大阪(365日・24時間): 072-726-9923 つくば(365日・24時間): 029-851-9999
推奨用途	殺虫剤
使用上の制限	推奨用途以外の用途に使用する場合は、専門家の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
生殖細胞変異原性	区分2
発がん性	区分1A
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(消化管)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(腎臓, 呼吸器, 免疫系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)(吸入)	区分1(肺)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(肝臓, 心血管系)
水生環境有害性 短期(急性)	区分1
水生環境有害性 長期(慢性)	区分1
GHSラベル要素	

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
H320 眼刺激。
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い。
H350 発がんのおそれ。
H371 臓器 (消化管) の障害のおそれ。
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器 (腎臓, 呼吸器, 免疫系) の障害。
H372 長期にわたる、又は反復ばく露 (吸入) による臓器 (肺) の障害。
H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器 (肝臓, 心血管系) の障害のおそれ。
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

安全対策 P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P260 粉じんを吸入しないこと。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置 P305 + P351 + P338 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
P337 + P313 眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。
P391 漏出物を回収すること。
保管 P405 施錠して保管すること。
廃棄 P501 内容物や容器を廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非常事態の概要 粉じん雲の濃度が爆発範囲に入るおそれがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法(ENCS)/ 安衛法(ISHL) 番号
イソチアニル	224049-04-1	40	8-(7)-1642
カオリン	1332-58-7	>=20-<30	-
シアントラニプロール	736994-63-1	15	8-(1)-3850
二酸化ケイ素	14808-60-7 7631-86-9	>=10-<20	1-548
ホルムアルデヒド・ナフタレンスルホン酸 重合物のナトリウム塩	9084-06-4	>=10-<20	-
非晶質シリカ(シリカゲル及び沈降シリ カに限る。)	112926-00-8	>=1-<10	1-548
ジブチルナフタレンスルホン酸ナトリウム	25417-20-3	>=3-<10	4-473
硫酸ナトリウム	7757-82-6	>= 1 -< 10	1-501

4. 応急措置

一般的アドバイス	緊急連絡先、中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、製品容器、ラベル、安全データシートを手元に用意すること。
吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移す。 呼吸が不規則または停止している場合は、人工呼吸を行う。 患者を暖かく安静にしておく。 直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣服を脱がせる。 直ちに多量の水で洗い流す。 皮膚の炎症が続く場合は、医師に連絡してください。 汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。
眼に入った場合	直ちに、最低 15 分間はまぶたの内側も含め、多量の水ですすぐ。 コンタクトレンズをはずす。 直ちに医師の診察を受ける必要がある。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受け、この容器ないしラベルを見せること。無理に吐かせないこと。
急性症状及び遅発性症状の 最も重要な徴候症状	非特異。 既知または予期される症状はない。 眼刺激。 遺伝性疾患のおそれの疑い。 発がんのおそれ。 臓器の障害のおそれ。 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。
医療関係者への情報	特定の解毒剤はない。 対症療法を行う。

5. 火災時の措置

消火剤	小規模火災時: 水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用する。
使ってはならない消火剤	大規模火災時: 耐アルコール性泡消火剤、水噴霧 棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。
特有の危険有害性	可燃性有機成分を含有するため、火災時に有害性物質を含む黒煙が発生するおそれがある(「10. 安定性及び反応性」参照)。 分解生成物へのばく露は健康を害する可能性がある。
有害燃焼副産物	炭素酸化物 窒素酸化物(NOx) 臭素化合物 塩素化合物 硫黄酸化物
特有の消火方法	火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止する。 水を噴霧して密閉容器を冷却する。
消火を行う者の保護	完全な保護服と自給式呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する予防措置 「7. 取扱い及び保管上の注意」および「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い必要に応じて保護具を着用する。
粉じんの発生を避ける。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 安全を確認してから、漏出または流出防止の措置をとる。
河川または下水システムに排水しない。
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。

封じ込め、浄化の方法及び機材

除去方法 漏出物を閉じ込め、不可燃性の吸収剤(砂、土、珪藻土、バーミキュライト等)を使用して集め、地域/国の規則に従い廃棄するために容器に入れる(「13. 廃棄上の注意」を参照)。
ブラシや圧縮空気を使用することによって、粉末煙を発生させてはならない。
汚染面を十分に浄化する。
洗剤で拭く、溶剤は避ける。
汚染された洗浄水を保管し、処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 本剤は空気中に粉じん雲が発生し、それに着火すると粉塵爆発の可能性があるので、炎、高温面、火花や静電放電が着火源となりうるため、本剤の燃焼

特性から電気装置は静電気対策を行うこと。微量の可燃性溶媒を含有したり、可燃性溶媒が存在したりする場所での取り扱いによっては燃焼特性は激化する。

本剤は、ほとんどの作業で帯電する。

皮膚や眼への接触を避けること。

使用中は飲食及び喫煙を禁止する。

個人保護については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照する。

知見なし。

接触回避

保管

安全な保管条件

容器を密閉して、乾燥した、涼しく換気の良い場所で保管する。

子供の手の届かないように保管すること。

食品、飲料水、動物の餌から離しておく。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度

成分	CAS 番号	指標	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
イソチアニル	224049-04-1	TWA	0.8 mg/m ³	供給者
カオリン	1332-58-7	OEL-M (吸入性粉じん)	0.5 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (総粉じん)	2 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-C (吸入性粉塵)	0.03 mg/m ³ (シリカ)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		TWA (呼吸濃度)	2 mg/m ³	ACGIH
詳細情報: 発がん物質, 「第 1 群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である。この群に分類される物質は、疫学研究からの十分な証拠がある。				
シアントラニプロール	736994-63-1	TWA	5 mg/m ³	Syngenta
二酸化ケイ素	14808-60-7	OEL-C (吸入性粉じん)	0.03 mg/m ³ (シリカ)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		TWA (呼吸濃度)	0.025 mg/m ³ (シリカ)	ACGIH
詳細情報: 吸入性結晶質シリカおよび吸入性粉塵は以下の捕集率 R (dae) で捕集された粒子の質量濃度である。 $R(dae) = 0.5[1 + \exp(-0.06dae)][1 - F(x)]$ dae: 空気動学的粒子径 (μm), $F(x)$: 標準正規変数の累積分布関数 $x = \ln(dae/\Gamma) / \ln(\Sigma)$, \ln 自然対数, $\Gamma = 4.25 \mu m$, $\Sigma = 1.5$, 発がん以外の健康影響を指標として許容濃度が示さ				

	れている物質. III. 発がん性分類の前文参照, 発がん物質, 「第 1 群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である. この群に分類される物質は, 疫学研究からの十分な証拠がある.
--	---

設備対策	ばく露が避けられない場合、密閉および/または隔離することが、技術的に最も確実な防御手段となる。 保護対策の範囲は、使用時のリスクによって異なる。 空気濃度を管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度値以下に保つ。 必要に応じて、追加の労働衛生に関連する情報を求めること。
保護具	
呼吸用保護具	労働者がばく露限界値を超える濃度にさらされる場合、適切な認定呼吸器を使用すること。 適切な呼吸用保護具: ハーフ顔面マスク付きの呼吸器 マスク用のフィルターのクラスは、物質を扱っているときに発生する可能性のある最高予測汚染物質濃度(ガス/蒸気/エアゾール/粒子)に適したものなければならない。
手の保護具	
材質	ニトリルゴム
破過時間	>480min
手袋の厚さ	0.5mm
備考	保護手袋を着用すること。 手袋に劣化または薬品の浸透を示す兆候がわずかにでもある場合は、手袋を破棄し取り替えなければならない。
眼の保護具	密着性の高い安全ゴーグル 製品と眼が不慮に接触する可能性を払拭できない状況では常時ゴーグルを着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適した身体防具を選ぶには、そのタイプ、危険物質の濃度や量そして特定の作業場を考慮する。 汚染された衣服は洗浄してから再使用する。 不浸透性衣服を必要に応じて着用する。
保護対策	個人用保護具ではなく技術的対策を優先すること。 個人用保護具の選定については専門家のアドバイスを求めること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
色	類白色
臭い	データなし
臭いのしきい(閾)値	データなし
融点/凝固点	データなし
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性(固体、気体)	粉じん雲の濃度が爆発範囲に入るおそれがある。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	
爆発範囲の上限 / 可燃上限値	データなし

爆発範囲の下限 / 可燃 下限値	データなし
引火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
蒸発速度	データなし
燃焼価	2(20 °C)
自然発火温度	データなし
最低点火温度	750 °C
粘度	
動粘度(動粘性率)	データなし
溶解度	データなし
水溶性	データなし
溶媒に対する溶解性	データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度	データなし
相対ガス密度	データなし
爆発特性	爆発性なし
酸化特性	本製品は酸化性物質としては分類されない
最低点火エネルギー	> 10 J
粒子サイズ	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	合理的に予想できるものは、なにもない。
化学的安定性	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
避けるべき条件	指示通り使用すれば分解しない。
混触危険物質	知見なし。
危険有害な分解生成物	危険な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

可能性のあるばく露経路の情報	飲み込んだ場合 吸入した場合 皮膚に付着した場合 眼に入った場合
----------------	---

急性毒性

データが不足しているため分類されていない。

製品

急性毒性(経口)	LD50 (ラット, メス): > 2,000 mg/kg
急性毒性(吸入)	この物質または混合物は急性の経口毒性はない。 急性毒性推定値: > 5 mg/l ばく露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト 方法: 計算による方法

成分

イソチアニル

急性毒性(経口)	LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg
急性毒性(吸入)	この物質または混合物は急性の経口毒性はない。 LC50 (ラット): > 5 mg/l ばく露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト
急性毒性(経皮)	この物質または混合物は急性の吸入毒性はない。 LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg この物質または混合物は急性の皮膚毒性はない。

シアントラニリプロール

急性毒性(経口)	LD50 (ラット, メス): > 5,000 mg/kg
急性毒性(吸入)	LC50 (ラット, オスおよびメス): > 5.2 mg/l ばく露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト
急性毒性(経皮)	この物質または混合物は急性の吸入毒性はない。 LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg

ジブチルナフタレンスルホン酸ナトリウム

急性毒性(経口)	LD50 (ラット): 1,800 mg/kg
急性毒性(吸入)	LC50 (ラット): 4.08 mg/l ばく露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト
急性毒性(経皮)	LD50 (ラット): 3,000 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性

入手可能なデータによれば、区分外となる。

製品

種	ウサギ
結果	皮膚への刺激性なし。

成分

イソチアニル

種	ウサギ
結果	皮膚刺激なし。

シアントラニリプロール

種	ウサギ
結果	皮膚刺激なし。

ホルムアルデヒド・ナフタレンスルホン酸重合物のナトリウム塩

種	ウサギ
---	-----

結果 皮膚刺激性。

ジブチルナフタレンスルホン酸ナトリウム

結果 皮膚刺激なし。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼刺激。

製品

種 ウサギ

結果 眼への刺激、7日以内に回復。

成分

イソチアニル

種 ウサギ

結果 眼への刺激なし。

シアントラニリプロール

種 ウサギ

結果 眼への刺激なし。

ホルムアルデヒド・ナフタレンスルホン酸重合物のナトリウム塩

種 ウサギ

結果 眼への刺激、21日以内に回復。

ジブチルナフタレンスルホン酸ナトリウム

結果 眼に重傷のおそれ。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

呼吸器感作性

データが不足しているため分類されていない。

製品

試験タイプ マウスリンパ腫細胞

種 マウス

結果 皮膚感作性なし。

成分

イソチアニル

種 モルモット

結果 製品は皮膚感作性である、細区分 1B。

シアントラニリプロール

試験タイプ マウスリンパ腫細胞

種 マウス

結果 皮膚感作性なし。

生殖細胞変異原性

遺伝性疾患のおそれの疑い。

成分

イソチアニル

生殖細胞変異原性 - アセスメント 動物実験では遺伝子の突然変異への影響はなかった。

シアントラニプロール

生殖細胞変異原性 - アセスメント 動物実験では遺伝子の突然変異への影響はなかった。

ジブチルナフタレンスルホン酸ナトリウム

生殖細胞変異原性 - アセスメント In vitro 試験で、突然変異誘発性が示されなかった。

発がん性

発がんのおそれ。

成分

イソチアニル

発がん性 - アセスメント 動物検査において発がん性の証拠はない。

カオリン

発がん性 - アセスメント 動物検査において発がん性の証拠はない。

シアントラニプロール

発がん性 - アセスメント 動物検査において発がん性の証拠はない。

生殖毒性

データが不足しているので分類されていない。

成分

イソチアニル

生殖毒性 - アセスメント 生殖に対する毒性はない。

シアントラニプロール

生殖毒性 - アセスメント 生殖に対する毒性はない。

特定標的臓器毒性物質(単回ばく露)

臓器 (消化管) の障害のおそれ。

成分

イソチアニル

アセスメント この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(単回ばく露)としては未分類。

ジブチルナフタレンスルホン酸ナトリウム

標的臓器 呼吸器系

アセスメント この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、単回ばく露、気道炎症を伴う区分 3 に分類される。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器 (腎臓, 呼吸器, 免疫系) の障害。

長期にわたる、又は反復ばく露(吸入)による臓器 (肺) の障害。

長期にわたる、又は反復ばく露により臓器 (肝臓, 心血管系) の障害のおそれ。

成分

イソチアニル

アセスメント この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未

シアントラニリプロール	分類。
アセスメント	この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。
二酸化ケイ素	
ばく露の主経路	吸入
標的臓器	肺
アセスメント	この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、反復ばく露、区分1に分類される。
誤えん有害性	
データが不足しているので分類されていない。	

12. 環境影響情報

生態毒性

製品

魚毒性

LC50(Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 推定 > 30 mg/l
ばく露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性

EC50 (Daphnia magna Straus (ダフニア・マグナ・ストラウス)): 0.122 mg/l
ばく露時間: 48 h

藻類／水生生物に対する毒性

ErC50 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): > 100 mg/l
ばく露時間: 96 h
最大無影響濃度 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): 0.954mg/l
エンドポイント: 成長速度
ばく露時間: 96 h
EC10 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): 31.0 mg/l
エンドポイント: 成長速度
ばく露時間: 96 h

成分

イソチアニル

魚毒性

LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): > 1 mg/l
ばく露時間: 96 h
溶解度限界値における毒性なし。

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性

EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 1 mg/l
ばく露時間: 48 h
溶解度限界値における毒性なし。

藻類／水生植物に対する毒性

IC50 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): > 1 mg/l
ばく露時間: 72 h
溶解度限界値における毒性なし。

魚毒性 (慢性毒性)

最大無影響濃度 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 0.0293 mg/l
ばく露時間: 35 d

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性)

最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 6.25 mg/l
ばく露時間: 72 h

シアントラニリプロール

魚毒性

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 12.6 mg/l

	ばく露時間: 96 h LC50 (Cyprinodon variegatus (シープスヘッドミノー)): > 12 mg/l
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	ばく露時間: 96 h EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.0204 mg/l
藻類／水生植物に対する毒性	ばく露時間: 48 h ErC50 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): > 13 mg/l ばく露時間: 72 h 最大無影響濃度 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): 3.2 mg/l エンドポイント: 成長速度 ばく露時間: 72 h
M-ファクター (水生環境有害性 短期(急性)) 魚毒性 (慢性毒性)	10 最大無影響濃度 (Cyprinodon variegatus (シープスヘッドミノー)): 2.9 mg/l ばく露時間: 28 d 最大無影響濃度 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 10.7 mg/l ばく露時間: 28 d
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性)	最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.00656 mg/l ばく露時間: 21 d
M-ファクター (水生環境有害性 長期(慢性))	10
ジブチルナフタレンスルホン酸ナトリウム	
魚毒性	LC50 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): > 100 mg/l ばく露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l ばく露時間: 48 h 類似する物質から得られたデータに基づく。
藻類／水生生物に対する毒性	EC50 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): > 200 mg/l ばく露時間: 72 h 類似する物質から得られたデータに基づく。 ErC50 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): 271 mg/l ばく露時間: 96 h 最大無影響濃度 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): 19.7 mg/l エンドポイント: 成長速度 ばく露時間: 96 h

残留性・分解性

成分

イソチアニル

生分解性 急速分解性なし。

シアントラニプロール

生分解性 易分解性ではない。

ホルムアルデヒド・ナフタレンスルホン酸重合物のナトリウム塩

生分解性 易分解性ではない。

ジブチルナフタレンスルホン酸ナトリウム

生分解性 易分解性ではない。

生体蓄積性

成分

イソチアニル

生体蓄積性 生物濃縮されない。

シアントラニプロール

生体蓄積性 生物濃縮因子(BCF): < 1
生物濃縮されない。

土壤中の移動性

成分

イソチアニル

環境中の分布 中程度。

シアントラニプロール

環境中の分布 地中において低移動性。

土中での安定性 データなし。

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

成分

イソチアニル

PBT および vPvB の評価結果 物質は、難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) ではない。

シアントラニプロール

PBT および vPvB の評価結果 物質は、難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) ではない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物

薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと
廃棄物を下水へ排出してはならない。
可能ならば、廃棄や焼却処理より再利用する方が好ましい。
リサイクルできない場合は、地域の規制に従って処分する。

汚染容器及び包装

残りの内容物を空にすること。
容器は3回すすぐ。
空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。
空の容器は再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送(UNRTDG)

国連番号 UN3077

国連輸送名 ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.
(CYANTRANILIPROLE)

国連分類 9

容器等級 III

環境有害性 該当

備考 この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は5 L以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が5 kg以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

航空輸送(IATA-DGR)

国連番号	UN3077
国連輸送名	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (CYANTRANILIPROLE)
国連分類	9
容器等級	III
ラベル (Labels)	Miscellaneous
梱包指示(貨物機) (Packing instruction (cargo air-craft))	956
梱包指示(旅客機) (Packing instruction (cargo air-craft))	956
環境有害性	該当
備考	この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は 5 L 以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が 5 kg 以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

海上輸送(IMDG-Code)

国連番号	UN3077
国連輸送名	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (CYANTRANILIPROLE)
国連分類	9
容器等級	III
ラベル	9
EmS コード (EmS Code)	F-A, S-F
海洋汚染物質	該当
備考	この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は 5 L 以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が 5 kg 以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)

供給された状態の製品には非該当

国内規制

特定の国内規制については、「15.適用法令」を参照。

緊急時応急措置指針番号 171

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいている。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性がある。

15. 適用法令

関連法規

農薬取締法

登録番号 第 24473 号

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質(既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質(新規届出化学物質)

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2 (施行令別表第 9)

化学名	含有量(%)	備考
結晶質シリカ	>=10 - <20	—
非晶質シリカ(シリカゲル及び沈降シリカに限る。)	>=1- <10	2026 年 4 月 1 日以降
硫酸ナトリウム	>=1- <10	—

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条 (施行令第 18 条)

化学名	備考
結晶質シリカ	—
非晶質シリカ(シリカゲル及び沈降シリカに限る。)	2026 年 4 月 1 日以降
硫酸ナトリウム	—

がん原性物質(労働安全衛生規則第 577 条の2)

結晶質シリカ

皮膚等障害化学物質(労働安全衛生規則第 594 条の2)

化学物質名称	対象物質の区分
3, 4-ジクロロ-N-(2-シアノフェニル)イソチアゾール-5-カルボキサミド(別名イソチアニル)	皮膚刺激性有害物質

がん原性物質(労働安全衛生規則第 577 条の2)

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

第1種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量(%)
イソチアニル	634	40

第2種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量(%)
シアントラニプリロール	810	15

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第 2,3 条危険物告示別表第 1: 有害性物質

航空法

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: その他の有害物

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 有害液体物質には該当しない

個品輸送 海洋汚染物質

水質汚濁防止法

指定物質(法第2条4項、施行令第3条の3)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含む。2 項には政府による GHS 分類結果が反映されているため、11 項及び 12 項の試験結果と合致しない場合がある。

記載内容の取扱い

製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。
この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網

羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。

当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。

その他の略語の全文

ACGIH	:	米国。ACGIH 限界閾値(TLV)
日本産業衛生学会(許容濃度)	:	許容濃度等の勧告 - I.化学物質の許容濃度
ACGIH/ TWA	:	8 時間、時間加重平均
日本産業衛生学会(許容濃度) / OEL-M	:	許容濃度
日本産業衛生学会(許容濃度) / OEL-C	:	最大許容濃度